

葵会グループ様

「Cagou IT点呼」の導入で実現した階層別管理が大規模組織における車両の安全運行を支える

病院や介護老人保健施設など、医療や介護分野を中心に全国で約130拠点を展開する葵会グループ。そのうち90ほどの拠点で、利用者や患者の送迎、リハビリテーションや介護スタッフの訪問などのため車両の運転が行われています。全国の拠点で保有する車両は約1100台、ドライバーは延べ3000名にも上ります。

そこでのアルコールチェックや安全運転管理ツールとして葵会グループがリプレース導入したのが、コアの「Cagou IT点呼」でした。大規模組織を3階層に分けて管理することで、運用面の課題を解決した葵会グループ。「Cagou IT点呼」への評価と、安心・安全な車両運行について伺いました。

導入前の課題

- ▶従来システムは階層分けができず管理に不都合があった
- ▶アルコールチェック時のID入力でしばしば誤入力
- ▶各拠点でのドライバーの新規登録が煩雑だった
- ▶アルコールチェック時に操作ミスや入力エラーが発生

導入の成果

- ▶本部・9法人・各拠点の3つの階層で管理が可能に
- ▶高精度な顔認証でID誤入力はゼロに
- ▶ドライバーの登録が容易になり問い合わせが激減した
- ▶1画面1操作で理解しやすく点呼がスムーズに

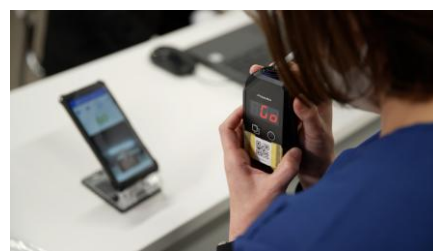
話 葵会グループ
車両事務局
統括 橋口由布子氏

昭和51年（1976年）の八本松病院（広島県東広島市）開設からその歴史が始まった医療法人 葵会。現在は葵会グループとして、全国に病院や介護老人保健施設、大学や専門学校、ホテルなど幅広い分野で130拠点以上を展開しています。

サービスは送迎や訪問から始まるため 車両の安全運行は最重要課題

そのうち約90拠点で、車両による送迎や訪問を行っている葵会グループ。所有する車両は約1100台、ドライバーも約3000人という大規模な運用状況です。

した。しかし従来のシステムでは、大規模な組織ゆえの課題があったと言います。



大規模組織ゆえに 点呼システムの階層管理が必要だった

「従来システムの大きな課題は階層管理ができていないことでした。つまり、車両管理の統括である私と、その下の法人や拠点の管理者の全員が同じ権限だったのです。ですから、拠点が独自の設定を加える場合、全国規模で設定が引張られる不都合が発生しました。また、他拠点のデータが閲覧できてしまうことも問題でした」（橋口氏）。

管理面やコンプライアンス面で悩んでいた時に「Cagou IT点呼」に出会い、きちんと階層管理ができると知って期待が膨らんだと言います。「『Cagou IT点呼』なら階層に分けて権限付与ができるとコアさんから提案されました。同時に事業所の状態・ニーズに合わせて変えていけます。例えば、アルコールチェックの際に体調等の質問をしますが、文章を事業所に合わせて変えられるなど自由度も高く、『Cagou IT点呼』は本当に良いシステムだなと感じました」（橋口氏）。



医療法人社団 葵会
介護老人保健施設 葵の園・柏たなか
事務長 石森章太郎氏



車両の安全運行の重要性を、葵会グループ車両事務局統括の橋口由布子氏は次のように語ります。「私どもの仕事・サービスは、ご利用者様をお迎えに上がるところ、あるいはお宅に伺うところからスタートします。安全に運転を行うことは、当グループでも最重要視しているテーマのひとつです」。

その葵会グループでは、アルコールチェックが義務化される前年の2022年から白ナンバー用アルコールチェックシステムを導入していま



医療法人社団 葵会
訪問リハビリステーション 柏たなか
言語聴覚士 太田友里氏

1画面1操作で理解しやすく、導入当初も業務に支障なく安心して使い始めることができました。朝の忙しい時間帯でも、エラーもなくスムーズに使うことができます。

医療法人社団 葵会
訪問リハビリテーション 柏たなか
言語聴覚士 太田友里氏

お客様プロフィール

葵会グループ

1976年に広島県東広島市に開設された八本松病院からその歴史が始まった医療法人社団葵会。現在は葵会グループとして、医療・介護分野を中心に、全国で約130の拠点を展開しています。

介護施設利用者や病院の患者などを対象に送迎・訪問のために車を利用する葵会グループは、所有する車両が約1100台、ドライバーは約3000名にのぼる大規模な事業者です。

<https://www.aoikai.jp/>



葵会グループでは現在、「Cagou IT 点呼」のシステムを3つの階層に分けて運用しています。「一番上位の階層は、全ての法人や拠点を管理し、データの閲覧もできます。中間に位置する9つの法人には法人内の管理・閲覧の権限を、その下の各拠点には拠点内の権限を付与しています。この階層分けて、従来のシステムに対し感じていた最大の課題は解決しました。『Cagou IT 点呼』は、当グループのような大きな組織にもマッチしたシステムだと満足しています」（橋口氏）。

高精度な顔認証が アルコールチェックの利便性を実現

葵会グループでは対面点呼で「Cagou IT 点呼」を活用しています。

まず、顔認証で本人確認をしてログイン。アルコールチェッカーで呼気を検査し、その後、体調に関する質問に答え、記録を残す流れになります。

安全運転管理者と会話を交わしながら行われる「Cagou IT 点呼」を活用しての対面点呼。その間、わずか数分で終わり、データはクラウド上に瞬時に記録されます。

介護老人保健施設である葵の園・柏たなかの安全運転管理者である石森章太郎氏は、「Cagou IT 点呼」の導入効果をこう語ります。「従来のシステムではドライバーがIDを入力するのですが、その際に誤入力がいっぱいあり、他の事業所の職員に誤って点呼情報が登録されることもありました。『Cagou IT 点呼』は顔認証がとても優れているので、誤入力の心配もなくスムーズに登録できています。検査記録に関しても効率的に管理できていますし、従業者や車両の情報管理についても当施設の情報から検索をして、簡潔に登録・編集が行えています」。

訪問リハビリテーション業務で公用車を運転する言語聴覚士の太田友里氏も「Cagou IT 点呼」を評価します。「1画面1操作で理解しやすく、導入当初も業務に支障なく安心して使い始めることができました。訪問リハビリ業務においては、車の運転は絶対必要です。始業時にしっかりとアルコールチェックをすることで、安心して勤務できます」。

朝の忙しい時間帯でも『Cagou IT 点呼』ならエラーもなくスムーズに使うことができるので、訪問のスタッフもみんな安心して使用しています」。

スムーズなアルコールチェックで生まれた時間は、ドライバーとのコミュニケーションに充てていると石森氏は言います。

「『Cagou IT 点呼』を使うことで余裕が生まれ、ドライバー一人ひとりとしっかりコミュニケーションを取る時間ができました。体調についても、表情や声から汲み取れるようになり、安心につながっています」。



「Cagou IT 点呼」を葵会グループの安全運転の礎に

その他にも、従来利用していたアルコールチェッカーが流用できた点や、グループ全体の包括的な検知回数で決まるライセンス契約の仕組み、コアによる丁寧なサポート体制など多くの要因を「Cagou IT 点呼」導入の理由に掲げる橋口氏。その上で、特に操作性とWeb上での処理の速さを高く評価していると言います。「大きく評価できるのは操作性です。またデータの読み込みも速いですし、アップロードも速いです。拠点がドライバーを登録する時も非常に容易で、『Cagou IT 点呼』を導入してからは拠点からの使い方に関する質問が劇的に減りました」。

最後に、今後の「Cagou IT 点呼」活用の展望を、橋口氏に伺いました。「みんなが、まるで息を吸うように、習慣的に水を一杯飲むような気持ちで、『さあ、行ってよう』という出発のきっかけになるような、それくらいストレスのなさで出かけてほしいと思っているんですね。『Cagou IT 点呼』の活用でかなり実現に近づけたのではないかと思います。このまま、葵会グループ全体の安全運転の礎として、ずっと使いたいと思います」。

※本事例の記載内容は2026年3月現在のものです。 ※本事例で記載されている会社名及び製品名は、各社の商標または登録商標です。



製品ページ

Cagou IT点呼 for 白ナンバー
<https://www.core.co.jp/service/industrial/iot/cagou-alc-white>

製品ページはこちらから▶



ソリューションに関するお問い合わせ

株式会社コア Cagouサポート窓口
TEL 0120-939-861 受付時間：10:00-17:00 土日祝は除く

お問い合わせフォームはこちらから▶



お問い合わせはこちらから

株式会社コア TEL：03-3795-5111

<https://www.core.co.jp/>